

令和4年度 農林水産業版タウンミーティング（農業版：浪岡地区）会議概要

日 時：令和4年7月27日（水）18:00～19:00

場 所：市役所浪岡庁舎 2階 大会議室

参加者数：3名

市側出席者：市長、農林水産部長、浪岡振興部長、農林水産部次長、農業政策課長、あおもり産品支援課長、農業振興センター所長、農地林務課長、浪岡病院事務長、農業委員会事務局分室長

■昨年度いただいたご意見への対応状況

⇒ 配付資料のとおり

■主なご意見・ご要望等

○スマート農業機器の導入に対するりんごに特化した助成を考えてほしい。また、メーカーに対し新しい機械の開発を働きかけてほしい。

⇒ 本市では、令和2年度から令和3年度にかけて、果樹分野におけるIoTセンサーやドローン等の最先端技術を活用したスマート農業技術の実証実験を実施した。

また、令和3年度から令和4年度においては、スマート農業に取り組む意欲のある農業者に対し、補助率2分の1以内、上限200万で補助する青森市スマート農業チャレンジ事業を実施している。さらに、5月には、農機具メーカーやスマート農業コンサルタントなどと、青森市スマート農業プラットフォームを構築し、7月にスマート農業フェアを開催した。

今後も国、県の支援について、情報収集を図りながら周知を徹底していくとともに、青森市スマート農業プラットフォームと連携しながら、りんご生産に効果の高いスマート農業機器の開発を促進し、支援制度を検討していきたい。

○農業経営者の高齢化や、後継者が少ない今、農家の健康寿命を延ばすことが、現状の農家を維持することだと思うため、農業者の健康維持のために指導をしてもらいたい。

⇒ 本市では、受診率向上の取組として、啓発チラシ等を送付しているほか、健康診査の未受診者に対し、個別にはがきや電話での受診勧奨を行っている。

また、浪岡病院でも、ヘルステックを核とした健康まちづくりプロジェクトの一環として、予防サービスを行っており、昨年度は、野沢りんごセンターで行われた栽培講習会と併せて実施し、今年度は6月7日に、農協浪岡支店で説明会を併せて実施した。

今後も農協との連携を強化して、栽培講習会等の機会を捉え、実施していきたい。

○新規就農者が参考にできるように、青森市で作られている作物の面積や初期投資、ランニングコスト、労働時間、収益等について、上位数品目を調べて、開示してもらいたい。

⇒ りんご、トマト、ミニトマト、ピーマンなど、本市を代表する農産物について、まずは実態を生産者の皆さんにお伺いしながら、これからの農業経営の改善や若手農業者の育成、定着を図っていく上での参考資料として、市独自の経営指標を整理し、活用していきたい。